



奄美・沖縄 世界自然遺産

AMAMI・OKINAWA World Natural Heritage

奄美大島 ～環境文化と世界自然遺産～

奄美市長 安田壮平



奄美大島について



- ・ 鹿児島県に所在（鹿児島本土と沖縄島のほぼ中間）。
- ・ 有人8島からなる奄美群島の中で最大の島。
- ・ 5市町村（奄美市・大和村・宇検村・瀬戸内町・龍郷町）が所在
- ・ 人口は58,738人
- ・ 面積は812.35km²（加計呂麻島、請島、与路島の面積含む）
- ・ 面積の8割強が山林
- ・ 年平均気温は21.6℃
- ・ 年平均降水量は約2,800mm
- ・ 北部にはなだらかな地形と海岸線が、中南部には深い山林が、海岸部にはサンゴ礁がそれぞれ広がる。



奄美群島国立公園（H29.3.7指定）

国内最大規模の亜熱帯照葉樹林とその生態系、世界的北限に位置するサンゴ礁、マングローブや干潟等多様な自然環境を有し、これらの自然と人とのかかわりを示す有形無形の文化景観が評価。

生態系管理型



自然景観だけでなく、
奄美群島の貴重な
生態系を保全

環境文化型



人と自然の関わりの中で育まれて
きた文化
将来に守りつないでいく

環境文化の事例

1. 島唄・島口ことわざ

- ・唄半学、「朝花節」「糸繰節」「黒だんど節」など
- ・「水や山うかげ 人や世間うかげ」

3. 大島紬

奄美に自生するシャリンバイと鉄分を含む泥田を用いて染色

4. 豊年祭

豊作を祈る祭り、集落ごとの豊年祭、シッチョガマ、平瀬マンカイ

5. 集落景観

サンゴの生垣、大島紬の泥田、高倉、神道、神山、立神、島建



環境文化を活用した観光事例 奄美群島観光物産協会の体験プログラム (あまみシマ博覧会)



16 三味線体験

奄美三味線を弾いて奄美の心を体感しよう

【開催日時】 10:30~12:30 / 14:00~16:00
【休 日】 2, 9, 10月 ※中学生以上から参加可能
【参加費】 参加費 1,000円
【定 員】 4名 / 最少参加人数 1名
【集 合 場 所】 奄美市平良町1-9-4

【講 師】 大田 孝典 (さびさき)
奄美市立奄美高等学校教諭。奄美の伝統文化、音楽、生活を通じて奄美の文化、伝統、生活を感じてもらう。奄美大島に在住しています。
【予 約 先】 ※予約締切日 体験日の前日まで
【予 約 費】 0997-72-2824 / 090-9564-1757
or hiboet19@gmail.com

17 オリジナルの目も奄美の心を体感しよう

大島特産品をテーマに、奄美の伝統文化や歴史をテーマにしたオリジナルの目も奄美の心を体感しよう

【開催日時】 14:00~17:00
【休 日】 2, 9, 10月 ※中学生以上から参加可能
【参加費】 参加費 1,000円
【定 員】 4名 / 最少参加人数 1名
【集 合 場 所】 ALO ALO yellow
※参加費は別途お支払いください。

【講 師】 内 山 孝典
奄美大島市、ハンドメイド大好きなスタッフがお待ちしております。
【予 約 先】 ※予約締切日 体験日の前日まで
ALO ALO yellow 090-9566-7108
内 山 孝典 090-5616-3351
【参加費】 1,000円 ※予約先着順

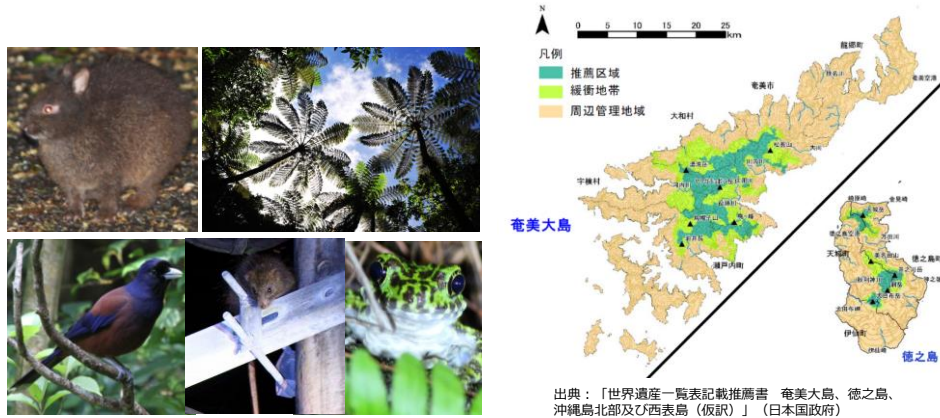
あまみシマ博覧会
主催：奄美群島観光物産協会
内容：奄美群島の各種プログラムを紹介
自然や文化に関する各種アクティビティ有



世界自然遺産登録地「奄美大島」

大陸との分断・結合を繰り返した独特な地史を背景に、多くの絶滅危惧種・固有種の生息・生育地であり、生物多様性上重要な地域（評価基準：生物多様性に該当）。

令和3年7月26日に世界自然遺産登録が決定。これを記念し、奄美大島5市町村では、「奄美・沖縄世界自然遺産の日」条例を制定。



出典：「世界遺産一覧表記載推薦書 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（仮訳）」（日本国政府）



[illegible]

世界自然遺産を巡る様々な取組

○ピンチをチャンスに（登録延期後の対応）

⇒推薦区域の修正、利用ルールの検討・試行、啓発イベントや環境学習講座等

○多様な主体との連携（外来種駆除）

⇒世界自然遺産推進共同体、エコツアーガイド連絡協議会、建設業協会、地元集落など

○遺産効果の最大化、経済効果の波及

⇒世界自然遺産の公民連携協議会（R4予定）

遺産効果を最大化し、経済効果の波及を目的に多様な主体が集い議論する場（プラットフォーム）を奄美市で構築し、市民参加型の施策構築に寄与

ご清聴、ありがっさまりよ～た！

